

JP58-37289U

(57) Claims

A headphone characterized in that a volume control unit which controls an acoustic volume level or the like of a headphone unit is provided in a part of a cord which connects a headphone jack and the headphone unit of a headphone.

(Partial translation of detailed description)

In the figure, the reference numeral 1 denotes a whole headphone, and 2L and 2R are left and right headphone units having ear pad 3L and 3R, respectively, and connected by an arm 4. The units 2L and 2R is connected to a headphone jack 6 by a cord 5 via a control unit 7 which is described later. Further, the control unit 7 is not explained in detail because an electrical connection thereof is conventionally well known, and is configured such that, for example, a volume controller for controlling a volume level of the headphone units 2L and 2R is provided and is controlled to vary a volume level of the headphone units 2L and 2R.

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—37289

⑤ Int. Cl.³
H 04 R 1/10

識別記号
1 0 1

庁内整理番号
6507—5D

④ 公開 昭和58年(1983)3月10日

審査請求 未請求

(全 1 頁)

⑭ ヘッドホン

② 実 願 昭56—128762

② 出 願 昭56(1981)9月1日

⑦ 考 案 者 市川義量
東京都台東区下谷3丁目14番2
号アイワ株式会社金杉センター
内

⑦ 考 案 者 椎名光男
東京都台東区下谷3丁目14番2

⑦ 考 案 者 中野辰夫
東京都台東区下谷3丁目14番2
号アイワ株式会社金杉センター
内

① 出 願 人 アイワ株式会社
東京都千代田区神田須田町2丁
目9番地

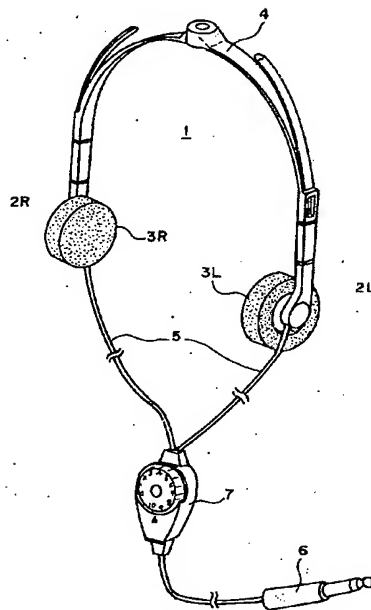
⑮ 実用新案登録請求の範囲

ヘッドホンのヘッドホンユニットとヘッド
ホンジャックを接続するコードの一部に前記ヘ
ッドホンユニットの音量等を調節し得るよう音
量調節部を設けたことを特徴とするヘッドホン。

図面の簡単な説明

図は本考案のヘッドホンの一実施例を示す説
明図である。

符号の説明、1…ヘッドホン、2L、2R…
ヘッドホンユニット、5…コード、7…調節部。





(4,700円) 実用新案登録願 (1)

昭和 56 年 9 月 1 日

特許庁長官 島 田 春 樹 殿

1. 考 案 の 名 称



ヘッドホーン

2. 考 案 者

タイトウクシタヤ
東京都台東区下谷3丁目14番2号

住 所

アイワ株式会社 ^{カナスギ}金杉センター内

氏 名

伊 川 義 量

(他 2名)

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 101

住 所 東京都千代田区神田須田町2丁目9番地
電話 (835) 1201 (代)

氏 名 (049) アイワ株式会社

代表者 取締役社長 三 辺 祐 介



4. 添付書類の目録

- | | |
|-------------|-----|
| (1) 明 細 書 | 1 通 |
| (2) 図 面 | 1 通 |
| (3) 願 書 副 本 | 1 通 |
| (4) (| 通) |

1028



明 細 書

1. 考案の名称

ヘッドホーン

2. 実用新案登録請求の範囲

ヘッドホーンのヘッドホーンユニットとヘッドホーンジャックを接続するコードの一部に前記ヘッドホーンユニットの音量等を調節し得るよう音量調節部を設けたことを特徴とするヘッドホーン。

3. 考案の詳細な説明

本考案はヘッドホーンに係り、さらに詳しくはヘッドホーンの音量等の調節機構に関するものである。

従来よりヘッドホーンの音量を調節する際、使用機器側の音量つまみを操作して行なうのが不便であるという理由からヘッドホーン側においても音量を調節できるようにしたヘッドホーンが提案されているが、これらのものはいずれも音量調節用のボリュームをヘッドホーンユニット内に備えたものであるため、ヘッドホーン

ユニットが大型となるとともに重くなつて使用しづらくなり長時間の使用に際しては疲労を伴なうものであつた。また音量を調節する際にも目盛りを読みながら行なうことができない等の欠点を有するものであつた。

本考案は上述した欠点を除去するためになされたもので、ヘッドホーンの音量を可変すべきボリュームをヘッドホーンのコード部に設けることにより、ヘッドホンユニットの小型軽量化を可能とし、さらに操作性を向上せしめた新規なヘッドホーンを提供するものである。

以下本考案のヘッドホーンを図に示す一実施例について詳述する。

図において1はヘッドホン全体を示し、2 L, 2 Rはそれぞれイヤープッド3 L, 3 Rを取り付けられ且つアーム4により連結された左右のヘッドホンユニットである。これらのユニット2 L, 2 Rは後述する調節部7を介してヘッドホンジャック6にコード5により接続されているものである。また調節部7は電気

的接続は従来より周知であるため詳細な説明は省略するが、例えばヘッドホーンユニット 2 L, 2 R の音量の調節を行なうためのボリュームを配設し、これを調節することによつて両ヘッドホーンユニット 2 L, 2 R の音量を可変し得るようになされているものである。

また音量調節手段としてはボリュームを必ずしも用いなければならないものではなく、スイッチと抵抗等で段階的に切り換えるようにすることもできる。

本考案のヘッドホーンは以上のような構成となつており、これによればヘッドホーンを装着した状態でも音量を調節部 7 によつて調節することができるものである。

以上述べたように本考案のヘッドホーンは、ヘッドホーンユニットの音量等を調節するためのボリュームをそのコードの一部に配設したので、ヘッドホーンユニットの小型軽量化が可能となるだけでなく音量の調節をその目盛りを眺みながら行なうことができる等、その効果は大

なるものである。

尚上述の実施例においては調節部 7 がヘッドホーンユニット 2 L, 2 R の音量を調節するための音量調節部である場合について述べたが、音量のみに限定されるものではなく、音質調節またはバランス調節等も行ない得るよう設計変更することができることは言うまでもない。

4. 図面の簡単な説明

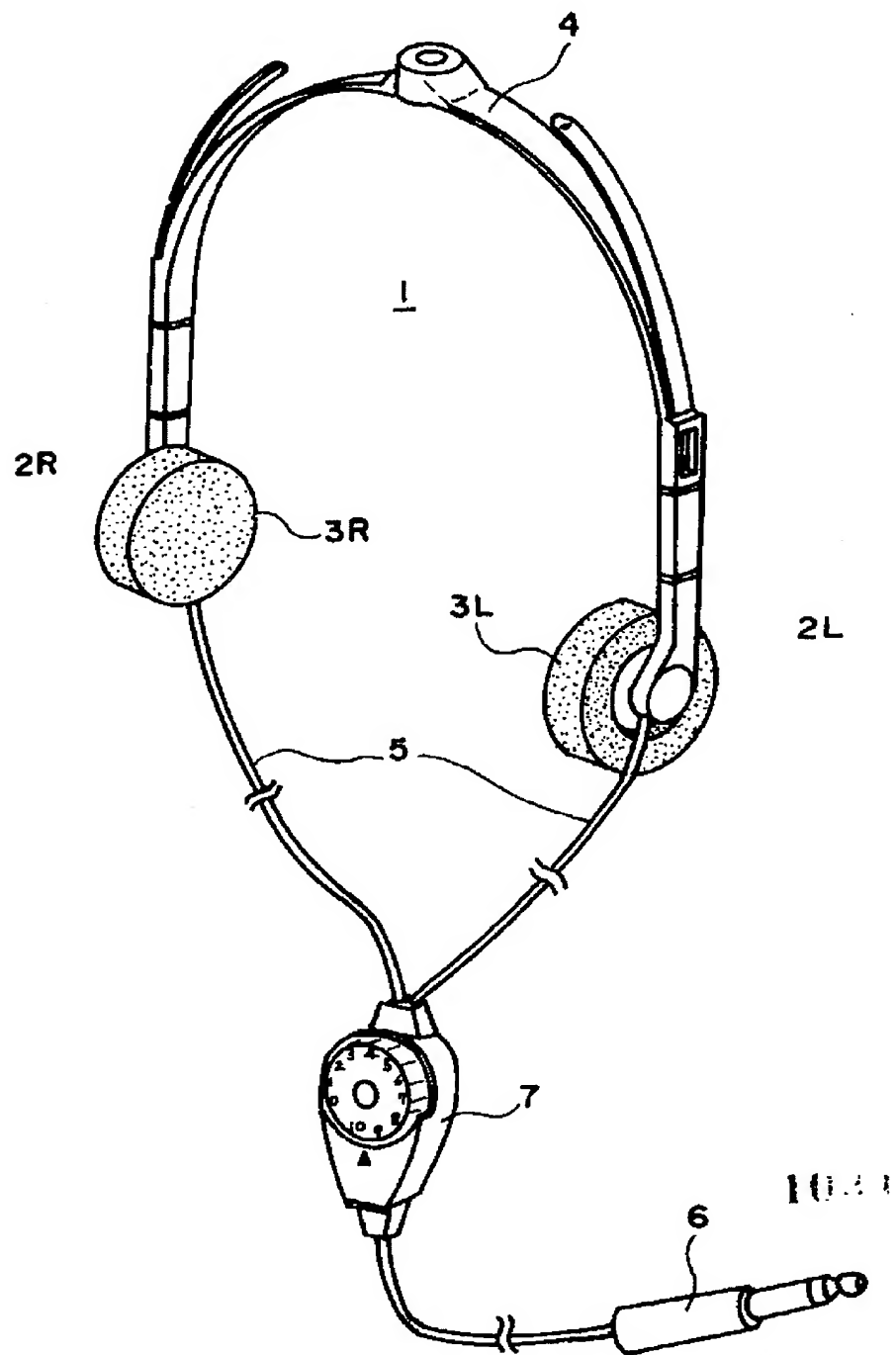
図は本考案のヘッドホーンの一実施例を示す説明図である。

符号の説明

- 1 … ヘッドホーン
- 2 L, 2 R … ヘッドホーンユニット
- 5 … コード
- 7 … 調節部

実用新案登録出願人の名称

アイワ株式会社



実用新案登録出願人の名称

実開58-37289
アイワ株式会社

5. 前記以外の考案者

住所 タイトウクシタヤ
東京都台東区下谷3丁目14番2号
アイワ株式会社カナスギ金杉センター内

氏名 シイ ナ ミツ オ
椎名 光男

住所 タイトウクシタヤ
東京都台東区下谷3丁目14番2号
アイワ株式会社カナスギ金杉センター内

氏名 ツノ ノ
中野 辰夫

